

2025年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：非営利組織会計論特論	
担当教員名：池田 享 誉 Ikeda Yukitaka	
授業科目概要： 今日、非営利組織に対して、以前にも増して広範な社会的役割が期待されるようになっている。ひとくちに非営利組織といっても、その範囲は、公益法人、社会福祉法人、学校法人、特定非営利活動法人等々というように、多種多様であり、統一的な会計システム(会計基準)が完備しているわけではない。非営利組織が社会的により大きな役割果たすためには、その会計様式の確立と情報の開示が必要不可欠である。 本講義では、まず営利組織(企業)会計との比較において非営利組織会計に特有の諸性質を明らかにし、その上で、いくつかの具体的な非営利組織の会計システムを概観していく。 さらに、講義の後半では、非営利組織が、財務報告において提供すべき情報は如何なる情報かを、米国の非営利組織会計論を参考にしながら検討し、今後のわが国の非営利会計の発展の方向を院生の皆さんとともに議論する。	
履修上の留意事項： 毎回の授業で、次週へ向けた課題を出す予定なので、講義に休まず参加できる環境を整えておいて下さい。	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：非営利組織会計概念形成論 著者／編者：池田 享 誉 出版社：森山書店 出版年：2007年	書名：非営利法人会計小六法 著者／編者：日本公認会計士協会 出版社：中央経済社 出版年：最新版
書名：FASB財務会計の諸概念 著者／編者：平松一夫 広瀬義州 出版社：中央経済社 出版年：2002年	書名：GASB/FASAB公会計の概念フレームワーク 著者／編者：藤井秀樹 出版社：中央経済社 出版年：2003年
書名：Statements of Financial Accounting Concepts 著者／編者：FASB 出版社：FASB 出版年：最新版	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
評価方法及び評価基準： 毎回の課題に対する発表内容により、80点以上はA、70点以上はB、60点以上はC、60点未満はF。	
授業目標及び進め方： 本講義の目標は、わが国の様々な非営利組織の個別的、具体的会計基準の理解および将来の非営利組織会計の発展の方向を探ること。 授業の進め方は、毎回、課題について発表してもらい、その発表内容について、皆で議論する。	

第 1 回	テーマ：非営利組織とは 内 容：非営利組織の特徴 教科書／参考書
第 2 回	テーマ：非営利組織会計の最新理論 内 容：意思決定有用性アプローチ 教科書／参考書
第 3 回	テーマ：わが国の各種非営利組織会計の現状① 内 容：公益法人会計基準 教科書／参考書
第 4 回	テーマ：わが国の各種非営利組織会計の現状② 内 容：社会福祉法人会計基準 教科書／参考書
第 5 回	テーマ：わが国の各種非営利組織会計の現状③ 内 容：NPO法人の会計等 教科書／参考書
第 6 回	テーマ：非営利組織会計の歴史① 内 容：1966年ASOBAT 教科書／参考書
第 7 回	テーマ：非営利組織会計の歴史② 内 容：1971年フリーマン委員会報告書 教科書／参考書
第 8 回	テーマ：非営利組織会計の歴史③ 内 容：1978年アンソニー報告書 教科書／参考書
第 9 回	テーマ：わが国の非営利組織会計の発展の方向① 内 容：FASB概念書第4号および第6号 教科書／参考書
第10回	テーマ：わが国の非営利組織会計の発展の方向② 内 容：FASB会計基準第117号 教科書／参考書
第11回	テーマ：わが国の非営利組織会計の発展の方向③ 内 容：GASB会計概念書第1号および第2号 教科書／参考書
第12回	テーマ：わが国の非営利組織会計の発展の方向④ 内 容：国立大学法人の財務報告書の検討 教科書／参考書
第13回	テーマ：わが国の非営利組織会計の発展の方向⑤ 内 容：わが国非営利組織会計および財務報告の在り方を議論 教科書／参考書
第14回	テーマ：わが国の非営利組織会計の発展の方向⑥ 内 容：わが国非営利組織会計および財務報告の在り方を議論 教科書／参考書
第15回	テーマ：わが国の非営利組織会計の発展の方向⑦ 内 容：わが国非営利組織会計および財務報告の在り方を議論 教科書／参考書